



礼拝音楽講座



天高くのびのびと 聖歌をうたおう

「これが私の声??」と、自分でもビックリするほど、よく響く声が出ます。
魔法の発声方法を、合唱発声のエキスパート、望月先生が、
優しく楽しく丁寧に教えてくださいます。このチャンスに是非!

2020年2月8日(土)11:00~16:00(受付10:30)



【第一部】発声体操 【第二部】聖歌を歌おう

講師 望月 裕央 先生(カウンターテナー/合唱指導)

会場 神戸国際大学チャペル 取り扱う歌 簡単な聖歌の中から数曲

～うたう身体の整えかた～

礼拝で歌う聖歌を、もっとのびのびと歌えたら、どんなに気持ち良いかと思いませんか?

聖歌をのびのびと歌うことに、才能や経験は全く必要ありません。

身体のなかにある「歌の通り道」を、ほんの少しだけ整えることによって、

あなたの声は、あっという間に幅広く豊かな声になります。

楽譜が全く読めなくて、音が全然とれなくて、何の問題もありません。

よく響くチャペルで、温かいオルガンの響きに包まれて、歌声はどこまでも広がっていきます。



プロフィール 望月 裕央 Hiroo Mochizuki

1965年神奈川県横浜市生まれ。洗足学園大学音楽学部声楽科卒業、同大学付属合唱音楽研究所修了。合唱指揮を川名佑一、声楽を宮原昭吾、グレゴリオ聖歌を橋本周子の各氏に師事、プロ合唱団「日本合唱協会」に入団。中心メンバーとして多くの指揮者・作曲家と共演。日本の歌、キリスト教音楽を中心としたソロ、アンサンブル、合唱指導に力を注いでいる。合唱指揮者として「ヴォーカル・アンサンブル カベラ」の創立メンバーとなる。シュッツ「ヨハネ受難曲」「マタイ受難曲」、バッハ「ヨハネ受難曲」の福音史家、モーツァルト「パステリアンとパステリアンヌ」「ダニエル物語」のダニエル等のソリストを務める。また世界的オルガン奏者ミシェル・シャビュイ氏らとの共演で、グレゴリオ聖歌の演奏に力を注ぐ。

現在は、東京・神奈川で多くの合唱団の指揮者を務める。日本の唱歌・童謡を歌い継ぐア・カベラ アンサンブル「ももたらう」主宰。他に「カベラ・グレゴリアーナ」「ムジカ・セルペンティス」等のメンバー、ハーモニングミュージックスクール、聖グレゴリオの家宗教音楽研究所講師。

受講対象 どなたでも

募集人数 100名以内

受講料金 500円(大学生以下無料)

申し込み方法 キリスト教センターあてeメールにてお申込みください。
eメールをご使用にならない方は、ファックスで送信してください。

申し込み開始日 2020年1月6日(月)～ 定員になり次第、締め切らせていただきます。

記載事項 ①メール(ファックス)件名「礼拝音楽講座申込」をお願いいたします。
②参加者の電話番号をご記載ください。

※申し込みされた方には、こちらからメールまたはファックスでご連絡させていただきます。

※キャンセルされる場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。

※やむを得ない事情により内容が変更になる場合がございます。本学ホームページをご確認ください。



申し込み・問い合わせ

神戸国際大学 キリスト教センター
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中9-1-6 (有料駐車場あり)

[TEL] 078-845-3103 [FAX] 078-845-3102
[E-mail] chapel@kobe-kiu.ac.jp